

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	飛騨	学校名	岐阜県立吉城高等学校			
校長名	鈴木 健	対象学年	1, 2, 3	人数	377	人
活動名	YCK（吉高地域キラメキ）プロジェクト		時間数	30 時間	継続年数	2 年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [外来植物防除作業] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [古川祭・祭保存会] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [きつね火まつり] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [飛騨の匠・山中和紙] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [ひまわりプロジェクト] ⑥ その他（福祉ボランティア・防災教育） [和光園訪問・図上災害訓練]					
複数年継続するための工夫改善	YCKプロジェクトの活動を柱に、ESD（Education for Sustainable Development＝持続可能な開発のための教育）を進める「ユネスコスクール」への登録を目指している。現在、事務局である公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）に書類を提出し、担当大学である岐阜大学にて審査が通り、県教育委員会に提出した。					
<p>1 ねらい YCK（吉高地域キラメキ）プロジェクトを推進し、本校のビジョン「地域に根付いた、地域に愛される、地域に貢献できる学校」の実現を目指し、生徒に課題解決能力を身に付けさせ、地域の未来を担う志を持った逞しい人材に育てる。</p> <p>2 活動の概要 プロジェクトの4本の柱「地域観光」「地域福祉」「地域教育」「地域防災」の活動概要</p> <p>(1) 地域観光 外国人観光客の増加に対応し、英語の授業の一環として、外国人観光客に観光案内を行うボランティア活動を3年前から飛騨市と連携して行っている。今年度は、地域の伝統文化継承のため、「古川祭保存会」の方々を招いて講演会を開催した。</p> <p>(2) 地域福祉 近隣の高齢者福祉施設「和光園」を定期的に訪問し、一緒にゲームを楽しんだり、呈茶、清掃活動等の交流を図ったりしている。また、「スマイル広場」では、飛騨吉城特別支援学校の小学部の生徒と交流している。今年度は、同特別支援学校高等部の生徒が生産活動で作った作品を本校の文化祭で展示及び販売する交流に取り組んだ。</p> <p>(3) 地域教育 長期休暇に本校生徒が地元の小中学生に対して行う「高校生学習サポーター」や、理数科の生徒が実験などを通して科学の面白さを伝える「小学生サイエンス教室」を実施した。また、理数科生徒の課題研究発表会は、地域の公民館で中学生や市民を対象に公開している。同じく理数科では、飛騨市神岡町にある「スーパーカミオカンデ」を見学し、最先端科学に触れる機会を設けている。今年度はその研究者や大学院生を招いて、高校生が学習支援を受けた。</p> <p>(4) 地域防災 地学部は、「古川国府盆地の地下に伏在活断層」の仮説を立て、地形発達史の関係から盆地の地形の説明を試みた。地域の防災意識を高めることに貢献するとともに、学術的にも評価され、岐阜県科学作品展で2年連続(2014-2015)最優秀賞を受賞した。今年度は、生徒防災リーダー3名が3か月間にわたり、過去の災害状況調査、地区の危険個所の確認等を行った。それを基に、「自分の命に責任を持つ」のテーマで、2学年を対象に災害図上訓練を行った。また、写真部が中心となり、「被災地の痛みを忘れない」を合言葉に、東日本大震災の被災地から送られたひまわりの種を学校や市民農園で育てる「ひまわりプロジェクト」に取り組んでいる。</p>						

### 3 地域住民との関わり，地域社会への貢献の様子

各テーマで，地域の教育資源や人材を有効活用し，教育目標実現のために最適な教材を利用する。

#### (1) 地域観光

飛騨市観光協会が提供する既存の地図やガイドブックや，観光に関わる地域の方々

- (①市観光課提供の観光パンフレット，②英語ガイドブック③ ぼんぼり夢街道の提灯作成，  
④古川祭保存会役員の方々)

#### (2) 地域福祉

地域の福祉施設を訪問し，職員の方々や入所者の方々との交流

- (①高齢者福祉施設「和光園」，②飛騨古城特別支援学校)

#### (3) 地域教育

近隣の小中学校及び飛騨市神岡町にある国の研究施設及びその職員

- (①古川中学校，古川小学校，古川西小学校，②東大宇宙線研究所(スーパーカミオカンデ)，  
大型低温重力波望遠鏡(KAGRA))

#### (3) 地域防災

地域の防災意識を高めることに貢献するもの

- (①古川盆地の地形図や野外観察や測量機器等で測定し得られた微地形図，②東日本大震災の被災地南三陸で生き残ったひまわりの種

### 4 活動を通しての児童生徒の変容(生徒の感想より抜粋)

#### (1) 地域観光

地域に貢献できるという意識を持つことができた。飛騨地域で「英語ができる」と，将来チャンスが増えるため，英語の学習に力を入れて取り組むことが大切だと感じた。

#### (2) 地域福祉

地域の人との交流を，毎日の会話などでしていくことが大切だと思いました。高校生のうちに，もっと地域に目を向ける。そのために，自分ができる範囲で，地方新聞を読んだり，地域のイベントに参加したりすることが大切だと思った。

#### (3) 地域教育

どうやったら小学生が楽しんで参加できるかを考えるのは大変だった。また，小学生が持っている知識で，児童の目線に合わせて教えるのがとても大変でした。将来，教師になりたいと思っているので，このように考える経験ができて，いい勉強になった。

#### (4) 地域防災

地域とのイベントに積極的に参加することで，高校生として地域について考えていきたい。ひまわりの種をきっかけに，自然災害に対して家族とどう備えておくべきかを話し合う機会を増やしてもらえれば良いと思う。震災の教訓を忘れないように，次の世代につなげていく活動を，私たち若い世代が広げていきたい。

実施日	活動名(参加者の数)	1年/2年/3年	実施日	活動名(参加者の数)	1年/2年/3年
4/19	英語観光案内(34)	0 / 0 / 34	7/23~	学習サポーター(55)	14 / 16 / 25
4/19	飛騨地域紹介カード配布(118)	0 / 118 / 0	8/9	小学生サイエンス教室(8)	0 / 8 / 0
5/22	安望藤棚リニューアル(13)	0 / 7 / 6	8/21	飛騨市文化村サマーフェス(10)	0 / 5 / 5
5/25	国政選挙啓発(4)	0 / 59 / 0	9/11	ぼくらのまちのはたらく車(5)	3 / 0 / 2
6/9	特別支援スマイル広場(8)	2 / 1 / 5	9/17	ぼんぼりゆめ街道(38)	12 / 21 / 5
6/15	外来植物防除作業(59)	17 / 12 / 14	9/24	きつね火まつり(2)	0 / 2 / 0
6/15	ひまわり畑の整地(44)	6 / 15 / 6	10/3	和光園清掃活動(84)	19 / 47 / 18
6/18	ひまわりの種まき(26)	0 / 0 / 4	10/31	熊本地震支援活動(18)	4 / 14 / 0
7/8	台湾文教基金会交流会(8)	1 / 0 / 7	11/17	防災図上訓練 LHR(116)	0 / 116 / 0
7/20	和光園交流会(96)	25 / 33 / 39	11/21	職員研修会(60)	職員 30 / 市民 30
7/23	絵本の読み聞かせ(3)	0 / 0 / 3	12/11	飛騨の匠に学ぶものづくり(5)	0 / 5 / 0